

2021年11月15日

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

「岩手新事業創造ファンド2号」による投資について
(株 式 会 社 ヘ ラ ル ボ ニ ー)

いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 稲垣 秀悦）は、株式会社岩手銀行等と2019年5月に組成した「岩手新事業創造ファンド2号投資事業有限責任組合」の投資先として、アート作品を対象としたライセンスビジネスを営む株式会社ヘラルボニー（以下「ヘラルボニー」という、本社：岩手県盛岡市、代表取締役 松田 崇弥、松田 文登）に投資を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

ヘラルボニーは、日本全国の福祉施設や個人で活動する、主に知的障害のあるアーティストとライセンス契約を結び、高解像のアートデータを軸にファッションやフードパッケージ、建設現場等の仮囲いアートミュージアム等に転用する企業で、両代表は岩手県金ケ崎町のご出身です。

保有するアートは、斬新性と汎用性を両立しており、t o Cを中心に売上が進捗しています。

また、大手商社や代理店をエージェンシーとした販路拡大が見込まれ、ライセンス事業の飛躍が期待されることから投資判断を行いました。

記

1. 投資決定先の概要

企 業 名	株式会社 ヘラルボニー
代 表 者	代表取締役 松田 崇弥 代表取締役 松田 文登
本社所在地	岩手県盛岡市開運橋通2-38@HOMEDELUXビル4F
設 立 日	2018年7月
事 業 内 容	アートを対象としたライセンスビジネス
投資額・方法	非公表・株式取得
企業の特徴	<p> 「異彩を、放て。」をミッションに、福祉を起点に新たな文化を創ることを目指す福祉実験ユニット。日本全国の障害のある作家とアートライセンス契約を結び、2,000点以上のアートデータを軸に作品をプロダクト化するアートライフブランド「HERALBONY」、建設現場の仮囲いに作品を転用する「全日本仮囲いアートミュージアム」など、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開。社名「ヘラルボニー」は、知的障害がある両代表の兄・松田翔太氏が7歳の頃に自由帳に記した謎の言葉。そのため「ヘラルボニー」には「一見意味がないと思われるものを世の中に新しい価値として創出したい」という意味を込めている。 </p>

2. ファンドの概要

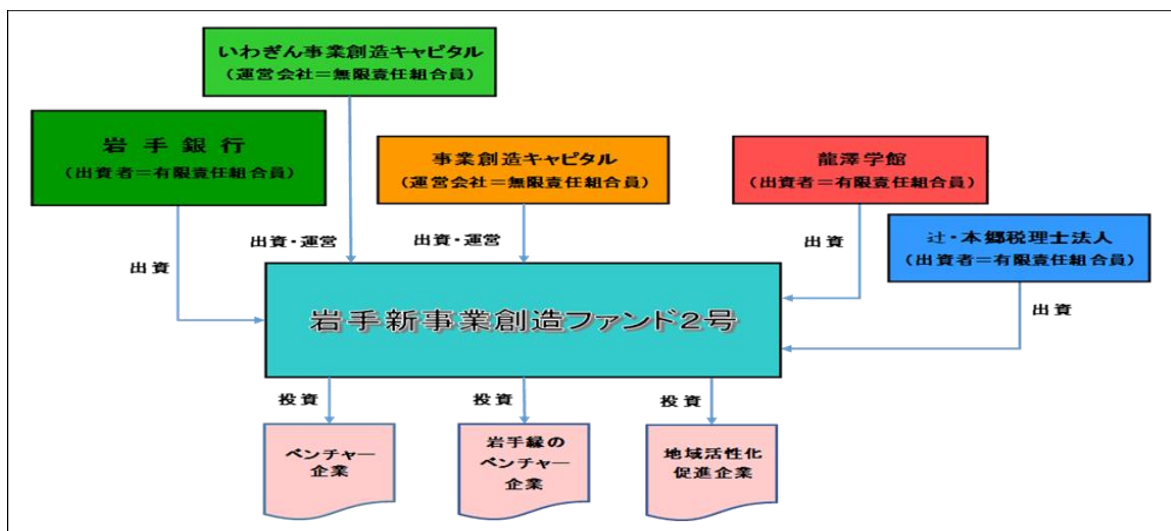
名 称	岩手新事業創造ファンド2号投資事業有限責任組合
設 立 日	2019年5月20日
ファンド規模	10億円
出 資 者	無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル 株式会社 事業創造キャピタル 株式会社 有限責任組合員：株式会社 岩手銀行 学校法人 龍澤学館 辻・本郷税理士法人
期 間	投資期間7年、存続期間10年（ただし、必要があれば期間の満了日から1年毎に最長2年間の延長を行うこともあります）

[投資方針]

岩手県の経済の活性化に寄与することが期待される以下の企業について、投資を通じて育成を行い又は事業を支援することにより、組合契約期間中にこれらの企業の企業価値を向上させ、株式公開、株式譲渡、自己株式取得等により投資資本額以上の回収を図るよう努めます。

- (1) 岩手県のベンチャー企業
- (2) 岩手県出身者等が経営する岩手県外のベンチャー企業
- (3) 岩手県の経済活性化を促すことが期待できる岩手県外企業

3. ファンドのスキーム図



以 上

<本件に関するお問合せ先>

経営戦略室 小笠原 TEL：019-621-1470